

令和6年度第1回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：令和6年6月7日（金）午後2時から3時15分まで

開催場所：リサイクルプラザ1階 多目的ホール

【次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付及び委員紹介
- 3 環境部長あいさつ
- 4 事務局自己紹介
- 5 正副会長選出
- 6 正副会長あいさつ
- 7 諮 問
一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（諮問）
- 8 議 事
(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて
(2) 長野市災害廃棄物処理計画の見直しについて
- 9 その他
- 10 閉 会

【配布資料】

- ・資料1 長野市廃棄物減量等推進審議会について
- ・資料2 長野市廃棄物減量等推進審議会名簿
- ・資料3 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（諮問書写し）
- ・資料4 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（説明資料）
- ・資料5 長野市災害廃棄物処理計画の見直しについて（説明資料）
- ・資料6 令和5年度長野市ごみ処理概要
- ・資料7 令和5年度長野市し尿処理概要
- ・家庭用資源物とごみの出し方保存版（2024.3月改訂）
- ・令和6年度サンデーリサイクルと小型家電回収のご案内
- ・エコねこ通信（第16号）
- ・事務局職員名簿

【出席委員】 10名

【欠席委員】 1名

【事務局】 11名

【報道・傍聴者】 1名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

- ・資料1「長野市廃棄物減量等推進審議会について」により説明（事務局）
- ・会議の成立と公開について報告（事務局）

2 委嘱書交付及び委員紹介

- ・委嘱書交付は、時間の都合上、事前に机上へ配布（事務局）
- ・資料2「長野市廃棄物減量等推進審議会名簿」により自己紹介

3 環境部長あいさつ

令和6年度第1回長野市廃棄物減量等推進審議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆さまには、お忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。

委員の皆さまにおいては、ごみの減量、再資源化、し尿処理等に関する事項についてご審議いただくことになる。

本日は、ごみ処理手数料の見直しについて諮問させていただく。また、長野市災害廃棄物処理計画の見直しについてもご審議いただく。

ごみ処理手数料については、令和4年4月の改定から2年が経過するため、「行政サービスの利用者の負担に関する基準」に基づき見直すものであり、後ほど、選出された新会長に諮問させていただくので、よろしくお願い申し上げます。

令和5年度ごみ量の状況についてご報告させていただく。ごみ総量は令和4年度と比較して5,942トン減の113,953トン、約5パーセントの減となり、ごみ処理手数料有料制度が始まった平成21年10月以降、最小の数字となっている。

本日は、委員の皆さまの幅広い見識の中から、ご意見をいただければと思う。
どうぞよろしくお願いする。

4 事務局自己紹介

「事務局職員名簿」の順に自己紹介（事務局）

5 正副会長選出

（竹重委員）事務局案を提示いただきたい。

（事務局）会長には河村委員、副会長には小倉委員にご就任いただきたいとご提案申し上げます。

《異議なし、拍手で賛同の意を表明》

6 正副会長あいさつ

（河村会長）長野市廃棄物減量等推進審議会の会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げ

げる。先ほど会長に就任した河村です。皆様におかれましてはお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本日はごみ処理手数料の見直しについてその諮問を受ける予定。

長野市には各種のごみ処理手数料があるが、我々近いところだと、可燃、不燃ごみの袋の代金であるとか、粗大ごみシールもすごく身近なところと思う。

我々普段の生活の中で、かなり触れる機会はあるが、実際、手数料がどう決まっているとか、知らないことがかなりある。私も、6年前から務めさせていただき、いろいろ勉強することがある。普段の生活、家での言動等でも子どもたちに言うことも少し変わってきたなという気はする。まずは今日、事務局の説明を聞き、皆さんと現状を把握していきたいと思う。よろしくお願いします。

また、長野市災害廃棄物処理計画の見直しについても、審議をしていく。

特に、普段のごみの量というのはある程度予測できるものだが、災害時のごみは、突発的に起こり、あるピンポイントで局所的に発生し、なかなか予測できるものではない。そういったものを事前にある程度予想を立てることが非常に大事なことで、令和元年東日本台風で被災した経験や本年1月1日の能登半島地震の教訓を生かすような計画に見直していただきたいと思う。

本日含めて今後ともよろしくお願いします。

（小倉副会長）長野市廃棄物減量等推進審議会の副会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

先ほど副会長に選任された小倉です。

本日はこの手数料の見直しについて市から諮問いただく。

河村会長や、委員の皆様と内容確認しながら進めていきたいと思っているのでよろしくお願いします。

本日の会議に先立ち、事務局から審議会のスケジュール等お聞きしたが、今年度は結構タイトな日程だと伺っている。

副会長としてしっかりと河村会長をサポートしていきたいと思うのでよろしくお願いします。

諮問 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて



諮問書を環境部長（右側）から河村会長（左手前）へ手交

議事

(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて

資料4「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて」により説明（事務局）

（会長） 何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。

<以下、質疑応答>

（浅野委員）燃料費や運転手の人件費など、いろいろな物の値段が高騰している。多分、値上げになるのかなと自分の中で思い込んでいるが、参考に単価がどう推移しているかが分かるものがあれば教えていただきたい。

（事務局）単価については、第2回の審議会でお示ししていくということになる。例えば、資料6「令和5年度長野市ごみ処理概要」の27ページには、ごみ処理経費の推移を載せている。そういったものも含めて、単価を出していくということになる。

（松澤委員）資料4の2ページ目のその他のもので、2トン車に積んだ車1台相当分が26,100円、2分の1台相当が16,600円、となっている。計量器に乗って何キロで何円ではなく、積載状況で1台分であるとか半分であるとか、曖昧な部分があると見えるが、もう少し詳しく教えていただきたい。

また、犬、猫等の死体は、1頭当たりの単価なのか。重量と記載してあるが、2頭で何キロとなるのか。また、犬と猫とが混ざっていてもいいものなのか。グレーゾーンに見えるが、補足説明があればいただきたい。

（事務局）まず1つ目、2トン積小型自動車何台相当分の確認の質問については、収集日当日、資源再生センターの職員が依頼排出先に出向き、積込み後、必ず排出した依頼者と一緒に積込み状況を確認し、依頼者にトラック何分の1台相当分という了承をいただいたうえで料金を徴収している。職員のさじ加減と言うことは絶対はない。次に犬や猫等の死体の質問であるが、重量で行っている。1匹であろうが、犬と猫が混在していたとしても、その場で計量し、10キロ毎の料金を算定し、収集運搬費と合わせて徴収している。

(2) 長野市災害廃棄物処理計画の見直しについて

資料5により説明（事務局）

（会長） 何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。

<以下、質疑応答>

（竹重委員）常日頃心配しているのは、令和元年の台風災害で出た災害ごみを見て、本当に被災された方々は大変なことで、他人事とは思えない大惨事となった。災害に対して長野市では、現在37ヶ所を候補地として設定しているが、次回審議会での候補地を示していただきたい。今の居住地は、旧態依然の道路で、市のハザードマップでは3メートル50センチも浸水する区域であり、現実問題として被災した場合対処できないと思っている。

（事務局）この仮置き場ということに関しては、事務局の内部でも検討している部分である。現状、37ヶ所の仮置場は、ホームページでも公開しており、次回の審議会では皆様のお手元へお示しする。委員の意見のように、各家庭に配布された水害に関するハザードマップは危機管理防災課から配布され、今回想定しているのは最大雨量における全河川の氾濫想定ということになる。これは、仮に全部氾濫した場合、長野市は壊滅的な被害を受けるということになり、最大値として算定することが必要となり、提案させていただくもの。それに対し、具体的に仮置き場をどうするかといった場合、遅々として進まない部分もあるが、今、ホームページ等で公表しているものについてはお示ししたい。

（篠原委員）候補地はホームページで公開されているということだが、それは見に行かないと知らない情報だと思う。もっと、皆さんが「この場所ってそうだったんだ。」と思えるような。ハザードマップには記載はされているのか。皆さんができるだけ手に取って、なるほどって思われるようなところに、身近な場所で情報を教えられるような環境にある方がいいと思う。

（事務局）ご意見のとおりホームページやWebは、自分から探しに行かないと見つからないシステムであり、広く周知するという部分で掲載はしているが、皆様の手元へ届いていないという部分もある。また、水害或いは地震全体でどのような被害を受けるのかは、ケースバイケースで全く変わってくる。地震の被害は少ないが水害では大きな被害を受けるとなると、全域の災害ごみ量を、仮置場候補地で賄えるか難しい問題である。大型重機や大型車が進入し交互通行が可能で、ごみの排出がスムーズに行える場所となると、やはり公共用地や広めの舗装されている場所が一番適しているのだが、市内ではあまり多くないということもあり、それらも含め検討していく。現状のものについてはお示しし、それに対しご意見頂戴していければと思う。水害と地震とは全くケースが異なり、ケースバイケースの判断が出てくるということはやむを得ないものと思っている。すべからく全部の廃棄物を受入れるということはなかなか難しいと思う。

（篠原委員）候補地が市内で37ヶ所ということだが、それ以外にどの位まで増やす予定はあるのか。

（事務局）内部で試算し始めているが、長野市地域防災計画の中で地区ごとに被害棟数が地震で何棟、水害で何棟と出ており、その数値を国の基準に基づき計算し始めている。次回はそれをお示しできると思うが、基準に基づいて試算すると、能登半島地震で災害ごみの推定が211万トンと言われているが、長野市が、例えば水害で全被害を受けた場合には、それを遥かに上回る量の災害ごみが出てくるであろうということは推測される。しかし、市全地域が一斉に被災することはないと考えられるので、どの程度仮置き場を設定していくかは、今後、内部でも検討し結果を示していきたい。

（河村会長）ありがとうございました。

今の仮置場の件、ハザードマップには避難場所は表示がされている。

ただ仮置場をマップに表示していいかどうかというのは難しいな気がしますので、その点は、また検討が必要であると思う。

9 その他

（浅野委員）一般ごみと災害廃棄物はなんとなく分かるが、定義や具体的なイメージが非常にわかりにくい感じがある。少し丁寧な説明があると助かる。どの位の期間であれば災害ごみになるのか。災害が起きて1週間以内なのか、1ヶ月になるのか。時間的な幅とどういうルートで出たら災害ごみの対象になるのかを、資料があれば次回に聞かせていただきたい。

（事務局）次回以降の資料で説明できるようにしていく。

（北山委員）災害廃棄物の処理計画を見直すということだが、令和元年台風19号の対応を総括されていると思うが、これから私たちがこの見直しをしていく中で、あの時どう対応されたかを、お示しいただきたい。

（事務局）次回以降、資料として出せるものがあればお示ししていく。

（事務局）本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。

10 閉会（午後3時25分）